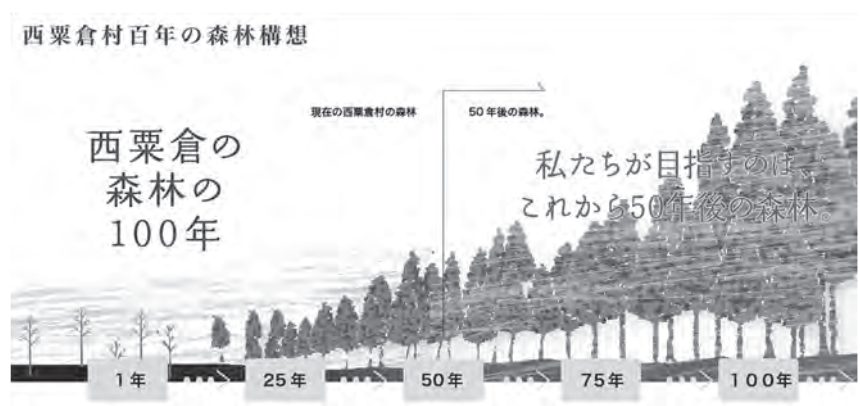




内田 雅人 議員

質問 伸び代の大きい林業の振興を

町長 ビジョンをもって取り組む



新たな森林管理システムの先進事例 西粟倉村の百年の森林構想

質問 山林を資源と捉え生かすことが必要だ。人の手が入らない山は災害に弱く、防災と陸と海の豊かさを守るという環境の観点からも林業振興は大切であり、森林環境税を有効活用していくべきだ。
新たな森林管理シ

ステムを生かして基盤整備と人材育成を強く進めていく必要があるのでは。
町長 林道専用道整備事業が進む大呂地区をモデル地区に選定して、山主の意向を確かめながら新たな森林経営システム

町長 林業は伸び代もあるが、町が林業を産業として振興するというビジョン自体が描けてないことがいちばん大きい。本年度バイオマス産業都市構想の見直しを計画しており、町の83%を占める森林資源を活用した産業の活性化と、実現性のあるバイオマスタウンのビジョンを描く。新たな森林管理制度による経営体の育成も必要と考えている。

に移行する。
先進事例の西粟倉村のような姿を目指しながら、奥出雲町ならではの取り組みをしていきたい。
質問 林業振興でネックになっていないか。その解決のための方向性は。



条例に基づいて企業訪問を増やし、的確な支援で地元企業の成長を

質問 奥出雲町中小企業・小規模企業振興基本条例があるが、行政の役割を果たす具体的な動きに乏しい。企業の成長を支援するための産・学・公・民・金の協働の中で、公の役割として企業訪問を行った方がいい。条例の第4条にも「経営実態の把握」があげられている。

成長が不可欠であり、雇用や税収の面でも大変重要だ。私も県の商工労働部局にいたとき企業訪問を行い、出向いて良かったと感じた。今後は企業訪問の回数を増やし、支援体制を充実していくよう対応していきたい。
その他の質問
部活動のあり方、地域移行の進め方について

条例に基づき商工振興に行政の役割強化を